種川小学校「ふるさと先生」による教育活動

小規模特認校である種川小学校では、教育活動の一つとして、「ふるさと先生」を講師として招いて学習をしています。学校が地域の人たちと繋がり、種川の良さを生かした学習に取り組むことによって、より一層の教育活動の充実を図っています。

今年度の学習では、５月は松尾敏幸氏のキノコの菌打ちで、ほだ木に金づちで菌を打ち込み、６月は伊藤正行氏の苗植えでスコップを使って穴を掘りカボチャと夕顔の苗を植え、7月は岸徹也氏の水泳教室で、けのびやバタ足の仕方を教わりました。

その他にも「書写の吉田学先生」「箏（こと）の田中幸子先生・遠藤崇子先生」がおられ、一年を通じていろいろな「ふるさと先生」が種川小学校の教育活動に協力しています。

種川小学校の黒川貴功校長は「ふるさと先生のみなさんには、いつも本当にお世話になっています。子どもたちはふるさと先生と一緒に勉強することが大好きです。それは、ふるさと先生に教わっていろんな事が分かったり、できなかったことができるようになるからです。」と、ふるさと先生への感謝と、種川の子どもたちが大人になり、次の世代のふるさと先生として学校に来てくれることへの期待も話していただきました。


▲松尾先生のキノコの菌打ち


▲伊藤先生の苗植え


▲岸先生の水泳教室

集落支援通信　～集落はいま～その６

令和２年７月時点での人口に占める65歳以上の割合（高齢化率といいます）をみると、美利河57％・花石62％・中里55％・住吉53％であり、各地区とも高齢化がかなり進んでいます。道内の集落の約６割が高齢化率50％を超えているといわれており、これは全道的な傾向といえます。

高齢化より深刻な問題は人口減少です。ここ10年間の人口減少率をみてみると、今金市街地の減少率が約８％に対して、４地区では約19～48％と２倍から６倍の減少率の高さを示しています。

このような現状ですが、ひとつの光明があります。それは子ども達です。各地区の年齢構成をみてみますと、花石地区を除いて０～14歳の子どもが各地区に３～５名いることです。地域に子どもがいることはそれだけで周囲が明るくなります。

今年の３月に３地区のみなさんとお話する機会があり、参加者全員に「①地域の良いところ」、「②不便・不満なところ」、「③集会があったらやりたいこと」を聞きました。その結果は、①空気や水がきれい、人が親切、のんびり生活ができるなど、②交通の便や通信環境が悪い、店がない、雪が多いなど、③おしゃべり、食事、簡単なゲームなど、というものでした。

各地区に共通しているのは、②よりも①のほうが数多く意見が出ることです。ある地区からは、「神社周辺には先祖が植樹した木々が数多くあり、季節ごとに楽しめる。これからも大切にしてゆくとともに、他の地区の人にも知ってもらいたい」という声がありました。各集落には住んでいる人しか知らない「お宝」がまだまだありそうです。集落の不便なところを挙げればきりがありません。それよりはよいところに目を向け、子どもたちも交えて知恵を出し合えば、その中から、集落を元気にする取り組みが生まれてくると思います。



今月の特集
行政情報
各種情報
まちの話題
情報かわら版
まちの行事予定
学びの道標べ

ＴＯＰＩＣＳにも掲載されております
gyousei/event/topics3/

稲刈り・米初出荷





８月30日、よく晴れた中、鈴岡地区の吉本辰也さん方にて今年の米の初収穫(品目：ゆめぴりか)が行われました。生育は例年より早く、45ヘクタールの刈り取り作業が10月上旬頃まで行われます。

刈り取られた新米は９月９日、吉本辰也さんと村上忠弘さん（神丘地区）の２名により今金町玄米バラ集出荷施設へ搬入され、外崎町長をはじめ、今金町農業協同組合関係者立ち会いのもと初出荷が行われました。

カヌー川下り体験

８月22日、美利河ダム湖周辺でカヌーの川下り体験（主催：総合型地域スポーツクラブいまかね）が３年ぶりに開催されました。

参加者は10名（大人２名、こども８名）で、カヌー未経験者が多かったため当初予定していた川下りコースではなく、美利河ダム湖および利別川上流入口までを往復する、約60分のコースに変更して実施されました。

参加者からは、「楽しかった」「また参加したい」といった声が多かったため、同クラブでは、次回には本格的な川下り体験ができるよう検討しているそうです。



今金八幡宮例大祭



９月20日、今金八幡宮例大祭の神輿渡御が快晴の中で行われました。例年であれば、きらびやかに装飾された山車が町を彩り、祭囃子が町に響き渡る例大祭ですが、今年も昨年同様に新型コロナウイルス感染拡大防止のため神事を中心に行われました。

神輿渡御は午前９時から始まり、３密（密閉・密集・密接）を回避するために規模を縮小して行われました。

認定こども園の園外保育

９月16日、愛指令ランドで認定こども園の園外保育（年長35名、年中25名）が行われました。子供達はきれいに草刈された愛指令ランドを走り回ったり、泥んこになりながらオタマジャクシや川エビをとったり、遊具で友達と遊んだり花を摘んだりしていました。

愛指令ランド内には「でっかいオタマジャクシがとれた」や「このお花知ってる」など楽しそうに遊んでいる子どもたちの大きな声が響いていました。

愛指令ランドを管理する鷲野竹春さん（愛指令の会）からは「子どもたちがたくさん遊びに来てくれて嬉しい。」と話していただきました。



※上記の記事はホームページ・
http://www.town.imakane.lg.jp/